

# 第3回埼玉県一次脳卒中センター（PSC）申請施設連携会議 次第

## 1. 開会あいさつ

令和6年度脳卒中・心臓病等総合支援センター事業 埼玉県選定病院  
埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯俊昭

## 2. 令和5年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業 実績報告

埼玉医科大学国際医療センター 包括的患者相談・支援センター長  
日本脳卒中学会 埼玉県脳卒中対策推進委員会 委員長 栗田浩樹

## 3. 令和6年度脳卒中・心臓病等総合支援センター事業 計画説明

同 栗田浩樹

## 4. アンケート調査の還元

## 5. その他、意見交換

**第3回埼玉県一次脳卒中センター(PSC)  
申請施設連携会議  
(2024.7.26)**

**埼玉医科大学国際医療センター**  
(令和6年度脳卒中・心臓病等総合支援センター病院)

埼玉医科大学国際医療センターは、  
令和5年度 厚生労働省「脳卒中・心臓病等総合支援  
センターモデル事業病院」に埼玉県で唯一選定され、  
活動して参りました。

令和6年度に於きましても、  
埼玉県「脳卒中・心臓病等総合支援センター事業病  
院」として、埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病  
対策推進協議会より指定を受け、活動を開始しており  
ます。

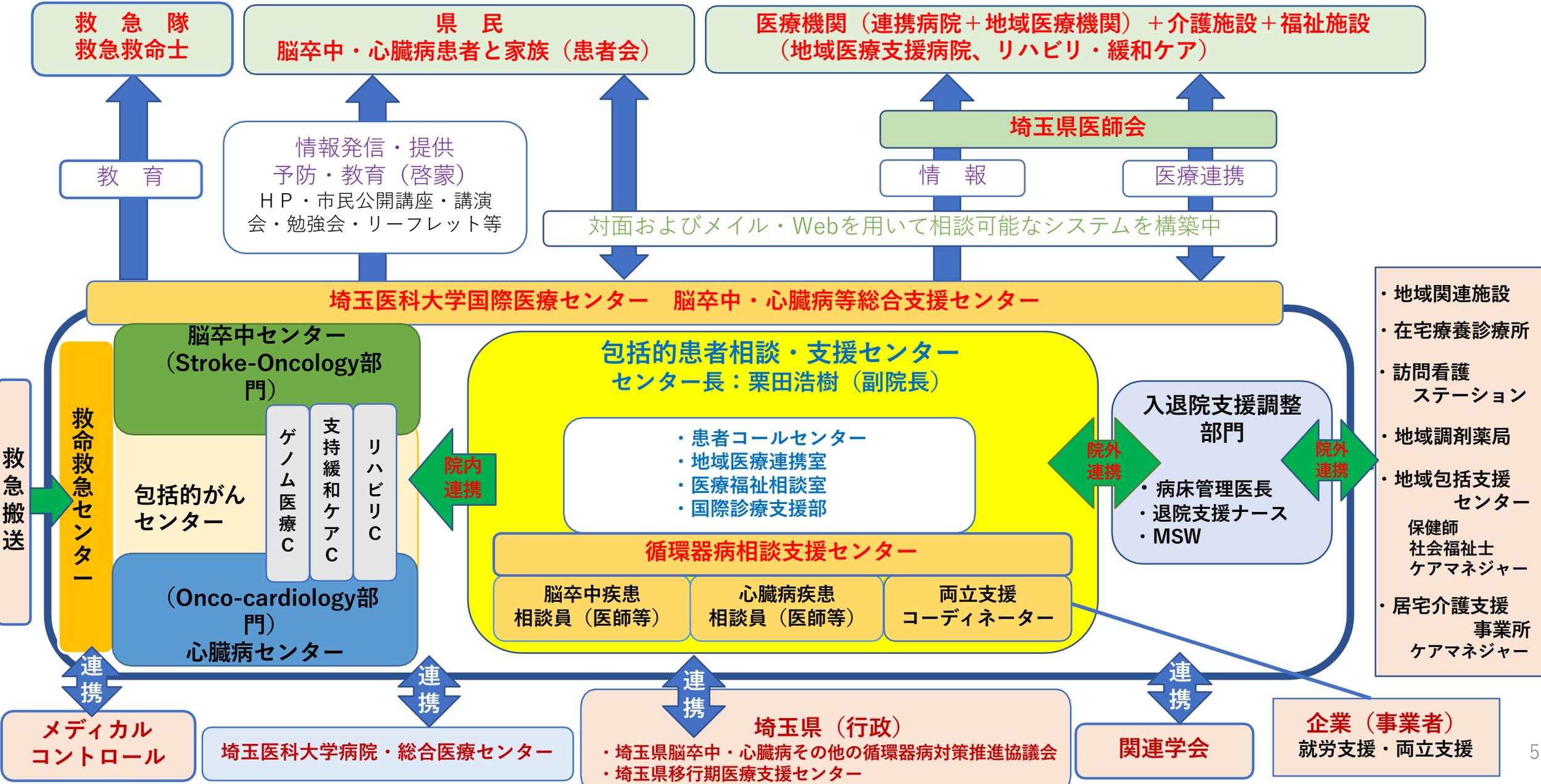
**埼玉県**  
**令和5年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業**  
**実績報告**

令和5年度(第2回)脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業採択

- 青森県(弘前大学病院)
- 岩手県(岩手医科大学病院)
- 埼玉県(埼玉医科大学国際医療C)
- 神奈川県(東海大学病院)
- 石川県(金沢大学病院)
- 福井県(福井大学病院)
- 長野県(信州大学病院)
- 大阪府(国立循環器病研究C)
- 兵庫県(神戸大学病院、神戸中央市民病院)
- 奈良県(奈良県立医科大学病院)
- 鳥取県(鳥取大学病院)
- 広島県(広島大学病院)
- 愛媛県(愛媛大学病院)
- 佐賀県(佐賀大学病院)
- 長崎県(長崎大学病院)

15自治体・16病院

# 埼玉医科大学国際医療センター脳卒中・心臓病等総合支援センター概要



# 基本コンセプト：支援戦略の統合化によるシームレスな支援

## 包括的患者相談・支援センター

(責任者：栗田浩樹、副院長・脳卒中センター長)

患者コールセンター (センター長：真下由美教授)  
 地域医療連携室 (室長：真下由美教授)  
 医療福祉相談室 (室長：大西秀樹教授)  
 国際診療支援部 (部長：高橋秀寿教授)

連携・協働

がん相談支援センター  
 (責任者：大西秀樹教授)

緩和ケアチーム

支持医療科医師  
 看護師  
 管理栄養士  
 社会福祉士

Stroke oncology  
 Onco-cardiology

循環器病相談支援センター

(責任者：鈴木孝明 副院長・心臓病センター長)

脳卒中相談窓口

(室長：鈴木・脳卒中外科講師)  
 医師1名、看護師8名、事務1名  
 薬剤師2名、リハビリ療法士3名  
 社会福祉士1名  
 (脳卒中療養相談士6名)

心臓病相談窓口

(室長：森・心臓内科講師)  
 医師1名、看護師10名、事務1名  
 薬剤師2名、リハビリ療法士1名  
 管理栄養士1名、社会福祉士1名  
 (心不全療養指導士3名)  
 (人工心臓管理技術認定士3名)

Declaration of BD  
 Recipient support

移植相談支援センター

(責任者：根本学教授)

移植ケアチーム

各診療科医師  
 移植コ-ディネ-タ-  
 看護師  
 社会福祉士

連携・協働

就労・両立支援

両立支援コーディネーター (SW)

所沢ハローワーク (就労支援ナビゲーター)

埼玉産業保健総合支援センター (両立支援促進員)

企業

(産業医・事務担当者)

小児心臓科・小児心臓外科  
 成人・移行期先天性心疾患センター

先天性疾患支援  
 小児期・若年期・  
 移行期医療支援

・小児病院 (埼玉県立小児医療センター、他)  
 ・埼玉県移行期医療支援センター

県民・患者・家族

相談

支援

院外  
 連携

入退院支援調整部門

## 支援のためにセンターに配置している職種

職種	専従 (常勤)	専任 (常勤)	専従 (非常勤)	専任 (非常勤)
社会福祉士	1人	2人	1人	1人
精神保健福祉士	1人	0人	1人	1人
看護師	1人	23人	1人	1人
保健師	1人	0人	1人	1人
薬剤師	1人	4人	1人	1人
リハビリ専門職 (PT・OT・ST)	1人	5人	1人	1人
医師 (内 心不全緩和ケア研修受講者)	1人 (内 1人)	6人 (内 0人)	1人 (内 1人)	1人 (内 1人)
栄養管理士	1人	2人	1人	1人
臨床心理士 (公認心理士)	1人	0人	1人	1人
事務職	1人	5人	1人	1人
その他 (詳細: 救急救命士)	1人	1人	1人	1人
総計	1人	48人	1人	1人

※専従は他業務との兼務は原則不可、専任は他業務との兼任が可能

# 主な事業内容と1年間の活動

## **1 患者・家族からの相談支援窓口設置 (2022.10)**

国際医療センターに通院していない県民も含め、患者・家族に対し、一体的な相談窓口を設置

窓 口：国際医療センター 脳卒中・心臓病等総合支援センター  
(日高市山根1397-1)

W e b : <https://saitama-hokatsu.com/nou-shin/consultation/>

## **2 すべての県民を対象とした循環器病に関する情報提供・普及啓発**

公開講座の開催（アーカイブ視聴可能）、県や県医師会が開催する県民向け公開講座への講師派遣、患者・家族勉強会の開催（Web形式）など、予防や重症化予防に向けた取組を行います。

## **3 地域の医療機関への横展開**

県内PSC core施設に設置が義務づけられた脳卒中相談窓口のとりまとめ役  
心臓病診療施設に対する心臓病相談窓口の設置推進、とりまとめ役  
医師会（かかりつけ医）との情報共有、研修会  
→循環器病支援の県内均霑化

# 脳卒中・心臓病総合支援センター専用HPの開設

## 脳卒中・心臓病等総合支援センター 開設のご案内

### 脳卒中・心臓病等総合支援センター開設について

厚生労働省の令和5年度事業として全国15府県(埼玉県では埼玉医科大学国際医療センター)に脳卒中・心臓病等総合支援センターが開設されました。

国際医療センターでは埼玉県の循環器病対策推進計画と連携して本事業を推進します。

事業の主な内容は脳卒中、心臓病等に対する相談窓口の設置、埼玉県民を対象とした情報提供や普及啓発、かかりつけ医と医療従事者に向けた研修会の実施、啓発資材の開発などです。

脳卒中・心臓病等総合支援センター開設に伴い、専用のホームページを公開しましたのであわせてご利用ください。



脳卒中・心臓病等総合支援センター  
<https://saitama-hokatsu.com/gou-shin/>

### 相談窓口について **相談無料**

相談窓口では医師、薬剤師、管理栄養士、リハビリテーションスタッフ、医療ソーシャルワーカー、脳卒中・心臓病等担当看護師が、脳卒中や心臓病等で悩んでいる患者さんとご家族の生活上の注意点、療養場所、後遺症や仕事と治療のことなど、様々な疑問や不安に対し、お話を聞かせていただき、悩みに応じた解決策と一緒に考えていく支援を行っています。

《お問い合わせは  
便利なWebをご利用ください》



こちらの二次元コードを  
読み取り、相談フォームに  
ご入力ください

《お電話の方はこちら》

受付時間

8:30~17:00

(日・祝日・年末年始を除く)

患者コールセンター

☎042-984-0608

埼玉医科大学国際医療センター

〒350-1298

埼玉県日高市山根1397-1



## 脳卒中・心臓病等総合支援センターが開設されました



- [脳卒中・心臓病等総合支援センターホームページ \(別ウィンドウで開きます\)](#)

令和5年度の厚生労働省「脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業」として、埼玉医科大学国際医療センターに脳卒中・心臓病等総合支援センターが開設されました。

県内の脳卒中や心臓病などの患者や家族などに対して情報提供や相談支援を行います。

また、かかりつけ医と医療従事者に向けた研修会の実施

[pref.saitama.lg.jp](https://pref.saitama.lg.jp)



埼玉医科大学国際医療センター

脳卒中・心臓病等総合支援センター



脳卒中・心臓病等総合支援センター  
開設のご案内



# 便利なWEBでの相談を推奨(患者・家族・介護関係者)

## 脳卒中相談窓口・心臓病相談窓口の利用

脳卒中・心臓病について相談希望の方はこちらをご覧ください。

### 相談をご希望の方

#### Webで相談希望の方

##### お問い合わせフォーム

脳卒中と心臓病でお問い合わせフォームが異なりますのでご注意ください。

脳卒中についてご相談の方

心臓病についてご相談の方

※ドメイン指定受信を設定している場合は、「@saitama-med.ac.jp」からのメールを受信できるように設定をお願い致します。

※返答に少々お時間をいただくことをご了承ください。

※お電話による返答とさせていただく場合もあります。

#### お電話でのお問い合わせ

患者コールセンター

TEL : 042-984-0608 (直通)

ページの先頭へ戻る ↑

## 【脳卒中】 相談フォーム

model\_stroke@saitama-med.ac.jp [アカウントを切り替える](#)



\* 必須の質問です

メールアドレス \*

メールアドレス

相談者と患者さんの関係 \*

- 患者本人
- 家族
- 友人・知人
- 一般

# 患者や家族への脳卒中・心臓病関連動画の視聴

- ・専用タブレット
- ・専用QRコード

厚生労働省委託事業による特別動画

## 脳卒中の予防・発症時の対応と退院後の相談支援

**知ってほしい!**  
脳卒中予防・発症時対応

脳卒中とは何か、その予防や起こったときの対応まであなたの質問に、11本の動画でわかりやすく答えます

脳卒中は、お年寄りだけでなく若くも発症する病気です。

脳卒中の予防について、それぞれ、2～3分程度の動画で解説しています。

第1話 脳卒中ってなに? (動画5分)

第2話 高血圧 (動画5分)

第3話 糖尿病 (動画5分)

第4話 不整脈 (動画5分)

第5話 脂質異常症 (動画5分)

第6話 たばこ (動画5分)

第7話 太り気味の人 (動画5分)

第8話 塩分 (動画5分)

第9話 悪い生活習慣 (動画5分)

第10話 薬介服状態や服薬 (動画5分)

第11話 一刻も早く病院へ! (動画5分)

お父さん、脳卒中って知ってる? お年寄りの病気だろ?

再発、お金、仕事のこと心配でした

脳卒中の薬はなぜ続けるのでしょうか?

後遺症や合併症が心配です

退院後の相談支援

2022年10月～2023年3月

厚生労働省委託事業による特別動画

## 脳卒中の予防・発症時の対応と退院後の相談支援

**知って欲しい!**  
退院後の相談支援

退院後の費用や支援についてお話しします

自己管理や日々の注意点についてお話しします

住環境の整備や車の運転などについてお話しします

イントロダクション  
脳卒中患者さんが自宅に戻りました～生活期のことでお伝えしたいこと～ (動画7分)

生活期 第1話  
脳卒中のことでお伝えしたいこと (動画5分)

生活期 第2話  
お金に関することでお伝えしたいこと (動画5分)

生活期 第3話  
これからの生活でお伝えしたいこと (動画5分)

2022年10月～2023年3月



視聴回数

2022年10月 – 2023年3月：3,094回  
2023年4月 – 2024年3月：10,564回  
(同期間 心臓病：5,437回)

“いつでも、どこでも、なんどでも”

# 「治療」と「仕事」の両立支援

治療を受けながら働きたいけれど、誰にも相談できずに1人で悩んでいませんか？  
1人で悩まず、両立支援促進員や就職支援ナビゲーターに相談しませんか？

## 【相談事例】

- ◆病気がなってしまったけれど、仕事を続けたい。
- ◆病気のことを会社にうまく伝えられない。
- ◆自分の病状、体力に合った仕事を見つけない。
- ◆治療と仕事を両立できるか不安。



職場復帰支援

就職支援

## 埼玉産業保健総合支援センターの両立支援促進員による相談会

### 【2023年度 開催日程】

12月21(木)・1月18日(木)  
2月15日(木)・3月21日(木)

時間：①11時～ ②12時～  
③13時～



※ご相談は原則予約制です

## ハローワーク所沢の就職支援ナビゲーターによる就職相談会(かかりつけの方のみ)

### 【2023年度 開催日程】

11月24日(金)・12月13日(水)  
12月22日(金)・1月10日(水)  
1月26日(金)・2月14日(水)  
2月22日(木)・3月13日(水)  
3月22日(金)

時間：①10時～ ②11時～  
③13時～ ④14時～

※ご相談は原則予約制です

※感染症流行時等は中止となる可能性があります。必ず予約またはお問い合わせの上、ご利用ください。



相談場所：E棟2階説明相談室

【お問合せ先】  
医療福祉相談室  
TEL：042-984-4106（直通）

埼玉医科大学国際医療センター

# 両立支援

「所沢ハローワーク」と

「埼玉産業保健総合支援センター」(新規)

「所沢ハローワーク」

→ 病気を原因に職を失ってしまった方への就職支援

「埼玉産業保健総合支援センター」

→ 就業中の方で治療を受けながら働きたい方への両立支援

「療養・就労両立支援指導料」の算定

# 主な事業内容と1年間の活動

## 1 患者・家族からの相談支援窓口設置 (2022.10)

国際医療センターに通院していない県民も含め、患者・家族に対し、一体的な相談窓口を設置

窓 口：国際医療センター 脳卒中・心臓病等総合支援センター

(日高市山根1397-1)

W e b : <https://saitama-hokatsu.com/nou-shin/consultation/>

## 2 すべての県民を対象とした循環器病に関する情報提供・普及啓発

公開講座の開催（アーカイブ視聴可能）、県や県医師会が開催する県民向け公開講座への講師派遣、患者・家族勉強会の開催（Web形式）など、予防や重症化予防に向けた取組。

## 3 地域の医療機関への横展開

県内PSC core施設に設置が義務づけられた脳卒中相談窓口のとりまとめ役

心臓病診療施設に対する心臓病相談窓口の設置推進、とりまとめ役

医師会（かかりつけ医）との情報共有、研修会

→循環器病支援の県内均霑化

# 埼玉県が実施する県民向け公開講座への協力

県民公開講座

## 脳卒中・心臓病 上手なお付き合い

～発症後の生活や仕事との両立～

令和5年 12/9(土) 13:00~15:30 参加費:無料

<b>脳</b> 13:05~	<b>脳卒中の病態と退院後の二次予防</b> 医療法人聖心会 脳神経外科フロンティア由戸西 院長 伏原 豊司先生	<b>脳卒中リハビリテーション</b> 埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション科 高橋 秀寿先生	
<b>心臓</b> 13:55~	<b>心臓病にかかったら日常生活はどう変わる?</b> 埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科 中楚 信太郎先生	<b>心臓リハビリテーション</b> 埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション科 田中 尚文先生	
<b>両立支援</b> 14:45~	<b>脳卒中の就労支援の特徴</b> 埼玉医科大学国際医療センター 医療福祉相談室長 牧本 昭士 田村 順子氏	<b>心臓病の就労支援の特徴</b> 埼玉医科大学国際医療センター 医療福祉相談室長 牧本 昭士 歌谷 知子氏	<b>ハローワークで行う両立支援</b> ハローワーク埼玉 専門援助部門 就職支援ナビゲーター 山下 美和氏

**場所** ウェスタ川越 1F 多目的ホールCD  
川越市新宿町3-17-17 ※川越駅西口徒歩5分  
※公共交通機関でお越しください

**対象** 埼玉県民、県内在住のどなたでも(会場定員100人先着)

**問合せ** 埼玉県疾病対策課 総務・疾病対策担当  
TEL.048-830-3598

**方法** 会場、YouTubeによるライブ配信・アーカイブ配信

**申込** Googleフォーム 締切12月8日 定数があれば当日参加も可

埼玉県 連携組織 公開講座

共催：埼玉県 / 埼玉医科大学国際医療センター / 埼玉県 連携組織 公開講座  
後援：一般社団法人埼玉県医師会 / 公益社団法人日本脳卒中協会埼玉支部 / 一般社団法人日本循環器協会埼玉支部

NHK NEWS WEB 新着 天気 動画 ニュースジャンル

首都圏 NEWS WEB ▶ 首都圏の深掘り記事

## 「脳卒中や心臓病後の支援に理解を」埼玉 川越で公開講座

12月09日 19時03分



脳卒中や心臓病を発症した人が退院した後も生活と仕事を両立させるための支援について理解を深めてもらおうという公開講座が9日、埼玉県川越市で開かれました。

埼玉県が開いた公開講座にはおよそ150人が参加しました。

県民向け公開講座

## 忍び寄る「脳卒中」「心臓病」

—命を守るこころがけ—

令和5年 1月21日(土) 13:15~16:00

**場所** 埼玉会館7B会議室・Zoomウェビナー  
**定員** 会場50名・Zoomウェビナー500名  
**対象** 県民(どなたでも) ※要申込  
**参加費** 無料  
**申込方法** 電子申請届出サービス

**講師**  
1 脳卒中編 日本脳卒中協会埼玉支部 埼玉医科大学国際医療センター 脳神経内科 院長 高橋 秀一 氏  
2 心臓病編 日本循環器協会埼玉支部 埼玉医科大学国際医療センター 循環器内科 教授 岡田 隆 氏

共催：日本脳卒中協会埼玉支部 日本循環器協会埼玉支部 後援：埼玉県医師会

参加者：会場138人、Web58人

# 市民公開講座

LIVE HYBRID 対面聴講 **第29回 埼玉医科大学国際医療センター 市民公開講座**

「今日からできる脳卒中・心臓病の予防—病気を知って予防しよう。治ってからの再発予防も大切です。」



日時：**2024年3月16日(土)**

**12:00開場**

ご来場：予約不要  
LIVE配信：予約制

会場：埼玉医科大学創立30周年記念講堂ホール  
(日高キャンパス) 埼玉県日高市山根 1397-1

YouTubeによるLIVE配信を希望の方は予約してください。

厚生労働省は医療機関を受診する場合にはマスクの着用を推奨しています。当院は、重症化リスクの高い患者さんが多く来院されますので、構内ではマスクの着用をお願いします。

お申込み・お問合せ：埼玉医科大学国際医療センター市民公開講座部会

右記の申込フォームからお申し込みください。  
Googleフォームが届かない場合は、ご連絡ください。  
優先席付近では、混雑時には携帯電話の電源をお切りください。  
また、それ以外の場所では、マナーモードに切替え、通話をご遠慮願います。  
問合せ先：042-978-7137  
URL：[https://www.international.saitama-med.ac.jp/public\\_lecture/](https://www.international.saitama-med.ac.jp/public_lecture/)

申込フォームはこちら



開会 13:00	開会の挨拶 病院長 佐伯 俊昭
講演 13:05~15:00	(1)脳卒中・心臓病の一次予防、二次予防の共通点・相違点 心臓内科 中 埜 信太郎 脳卒中外科 鈴木 海馬 (2)脳卒中・心臓病の予防と再発予防について—メディカルスタッフから— 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 内田 裕美 心臓病センター看護師 粕谷 雅代 管理栄養士 新井 沙央里 薬剤師 志保井 太郎 理学療法士 岩崎 寛之 (3)質疑応答 司会 中 埜 信太郎 鈴木 海馬 回答者 メディカルスタッフ
休憩 (15分)	
閉会 15:00	閉会のことば 市民公開講座部会長 鈴木 孝明
相談コーナー	1) お薬相談コーナー 2) 看護相談コーナー 3) 放射線検査相談コーナー 4) 栄養相談コーナー 5) 医療機器体験コーナー 6) BLS 体験コーナー



2024年3月16日(土)バス時刻表 停留所名:「埼玉医大保健医療学部」(日高市)

《行き》:埼玉医大保健医療学部【下車】					《帰り》:埼玉医大保健医療学部【発】				
時	高麗駅	高麗川駅	東毛呂駅	北毛呂駅	北毛呂駅	時	高麗川駅	高麗駅	埼玉医大行
10:31	45	09:35	01:22:40	07:28:46	35	15:39	06:36:49	12	
11:30	44	02	00:10:40:54	06:16:46	03:31	16:39	20:29:53	12	
12:30	44	02	10:23:53	00:16:29:59	31	17:33	08:24:42:57	03:36	

主催：埼玉医科大学国際医療センター（脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業）  
協賛：埼玉まなびプロジェクト協賛事業  
後援：埼玉医科大学医師会 埼玉県医師会 入間地区医師会 坂戸鶴ヶ島医師会 狭山市医師会 秩父市医師会 飯能地区医師会 比企医師会 所沢市医師会 埼玉県 日高市 毛呂山町 越生町 丸木記念福祉メディカルセンター 埼玉医科大学アスリートクラブ後援会

# 令和5年度開催

①2024年1月  
「救急医療の第一線」  
・脳卒中と頭部外傷  
(会場159人、Web109人)

②2024年3月  
「今日からできる脳卒中・心臓病の予防」  
・病気を知る  
・再発予防  
(会場324人、Web164人)

(参考)  
③2023年2月  
「脳と心臓の赤信号」  
・危険な頭痛  
・命にかかわる胸痛

後援：埼玉県、埼玉県医師会

# 支援患者数

対象		人数
新規患者数		309人
(新規患者数の内訳)	成人	265人
	小児 (18才未満)	44人
延べ患者数*		48,224人
(延べ患者数の内訳)	成人	41,397人
	小児 (18才未満)	6,829人

\*延べ人数では、複数回支援した患者について、支援毎にカウントする

## 新規支援患者数のうち、総合支援センターのある病院への通院/入院の状況

状況	人数
1. 総合支援センターの病院への通院/入院歴あり (現在も通院・入院中含む)	235人
2. 総合支援センターの病院への通院/入院歴なし	74人
3. その他	0人

## 支援内容（1患者あたり複数選択可、該当する項目の延べ件数）

相談内容	件数
1. 医療連携・地域連携パス	2, 529件
2. リハビリテーション（外来含む）	616件
3. 心理サポート	9, 357件
4. 両立支援（仕事・就労・復職）	97件
5. 両立支援（就学・復学支援）	2件
6. 緩和ケア（アドバンス・ケア・プランニングを含む）	49件
7. 疾病情報の提供（予防・診断・治療等について）	15, 316件
8. 医療・介護・障害福祉の連携に有用な社会システムの提供	507件
9. 経済的問題（または不安）への支援	86件
10. 障害者手帳認定の支援	94件
11. 家族支援	855件
12. 患者会・家族会との連携（ピアサポート）	7件
13. 訪問診療・訪問看護または在宅療養	2件
14. 主治医やかかりつけ医への不満	14件
15. その他	18, 693件
<b>合計</b>	<b>48, 224件</b>

（その他の支援内容について詳細：予防・発症時・退院後対応などの動画視聴、感染に関する指導など）

# 主な事業内容と1年間の活動

## 1 患者・家族からの相談支援窓口設置 (2022.10)

国際医療センターに通院していない県民も含め、患者・家族に対し、一体的な相談窓口を設置

窓 口：国際医療センター 脳卒中・心臓病等総合支援センター

(日高市山根1397-1)

W e b : <https://saitama-hokatsu.com/nou-shin/consultation/>

## 2 すべての県民を対象とした循環器病に関する情報提供・普及啓発

公開講座の開催（アーカイブ視聴可能）、県や県医師会が開催する県民向け公開講座への講師派遣、患者・家族勉強会の開催（Web形式）など、予防や重症化予防に向けた取組。

## 3 地域の医療機関への横展開

県内PSC core施設に設置が義務づけられた脳卒中相談窓口のとりまとめ役

心臓病診療施設に対する心臓病相談窓口の設置推進、とりまとめ役

医師会（かかりつけ医）との情報共有、研修会

→循環器病支援の県内均霑化

# 地域医療関係者への働きかけ①（かわせみ教育カンファレンス）

2016年より開催している看護教育連携カンファレンス

令和5年度開催（全4回・WEB配信）

【脳卒中】①2023年10月27日(金) 18時より  
『脳卒中領域における地域連携とは  
～活用しよう！「脳卒中相談窓口」～』

【心臓】②2023年11月10日(金) 18時より  
『これぞシームレスなケア！  
めざせ！オラが町の看－看連携』

【参考】③2023年6月 『大規模災害の備え』  
④2023年11月 『総合支援の実現に向けて』

埼玉医科大学国際医療センター  
2023年度 かわせみ教育カンファレンス

※かわせみ教育カンファとは、埼玉県西部地域の医療施設における看護師－看護師の連携を深めるために当院で主催しているカンファレンスです。

脳卒中領域における地域連携とは  
～活用しよう！「脳卒中相談窓口」～

日本脳卒中協会 脳卒中予防啓発シンボル  
<http://www.jsa-web.org/medical/228.html>

ストップ！  
NO卒中

日時：2023年9月8日（金）18:00～19:30  
会場：教育研究棟2階 大講堂  
Web開催（ハイブリッド形式）  
講師：鈴木 海馬（脳卒中外科 講師）  
槽谷 奈緒（脳卒中リハビリテーション看護認定看護師）  
ソーシャルワーカー、など  
申込み締め切り：9月4日（月）12：00まで  
申し込み URL：  
<https://ssl.formman.com/form/pc/XalxkZH4UbuEJwGp/>

申し込み  
QRコード：

【問い合わせ先】  
埼玉医科大学国際医療センター教育支援センター  
[kyoikuo@saitama-med.ac.jp](mailto:kyoikuo@saitama-med.ac.jp)

# 地域医療関係者への働きかけ②（地域医療連携懇話会）

## 第93回 地域医療連携懇話会

日時：2023年9月13日（水） 19:00～20:00

場所：埼玉医科大学国際医療センター 教育研究棟2階 大講堂よりハイブリッド開催

〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1 TEL：042-984-4433（地域医療連携室）

【総合司会】 地域医療連携室室長 眞下 由美 先生

【開会の辞】 病院長 佐伯 俊昭 先生

【座長】 脳神経内科・脳卒中内科 教授 高橋 慎一 先生

【一般講演】（質疑応答含む 20分）

『脳卒中後てんかんのマネジメント』

脳神経内科・脳卒中内科 教授 診療副部長 加藤 裕司 先生

【特別講演】（質疑応答含む 30分）

『脳卒中再発予防と認知症診療の up to date :

多職種で力を合わせて、健康寿命の延伸を目指す』

脳神経内科・脳卒中内科 教授 診療部長 須田 智 先生

【閉会の辞】 丸木記念福祉メディカルセンター 病院長 棚橋 紀夫 先生

7地区医師会（所沢市・狭山市・入間地区・飯能地区・坂戸鶴ヶ島・比企・秩父郡市医師会）会員、これまでに医療・福祉連携があった先へ開催案内。

## 令和5年度開催（全4回・WEB配信）

【脳卒中】 2023年9月13日（水）19時より

『脳卒中後てんかんのマネジメント』

『脳卒中再発予防と認知症診療』

【心臓】 2023年12月13日（水）19時より

『緩和連携』

『心不全包括ケアネットワークの構築と活用』

【心臓】 2024年3月27日（水）19時より

『心臓リハビリテーション』

【参考】 2023年7月 『がん放射線治療の最前線』

# 北部保健医療圏・秩父保健医療圏心不全に関する連携研修会

目的	① 医療従事者の質向上による医療の質の均てん化 ② 医療機関同士の連携推進
対象	北部保健医療圏・秩父保健医療圏の内科 循環器内科を標榜する病院・診療所 特別養護老人ホーム、訪問看護ステーション 在宅医療地区拠点に勤務するスタッフ
日時	令和6年2月27日(火) 18:00～19:15
方法	オンライン(ZOOM)
講師	埼玉県立循環器・呼吸器病センター 緩和ケア認定看護師、慢性心不全看護認定看護師
内容	○心不全緩和ケアの動向や特徴 ○心不全患者のACP ○末期心不全患者の症状と苦痛緩和 ○心不全患者の在宅支援・課題



## 心不全患者の緩和ケア

心不全に関する連携研修会



### 2月27日(火)

参加費無料 オンライン  
18時～19時15分

緩和ケアと聞くとがんの末期患者さんをイメージすることが多いと思いますが、がん患者さんに限定されるものではありません。

実際、人生の最終段階に緩和ケアを必要とする患者の疾患別割合は1位心臓疾患38.5%、2位がん34.0%とされています。(WHO, 2014)

心不全患者及び家族の苦痛へ介入し、QOL向上を図るアプローチである緩和ケアの基礎を学び、切れ目のない支援について考えます。

- 日時  
令和6年2月27日(火)  
18時～19時15分
- 開催方式  
オンライン開催  
(Zoomミーティング)
- 対象者  
北部・秩父保健医療圏に在住・在勤の  
メディカル・コメディカルスタッフ  
先着200名
- 申込期限  
2月20日(火)

- 内容  
・心不全緩和ケアの動向や特徴  
・心不全患者のACP  
・末期心不全患者の症状と苦痛緩和  
・心不全患者の在宅支援・課題 など
- 講師  
埼玉県立循環器・呼吸器病センター  
緩和ケア認定看護師  
大久保 敦子氏

\*令和5年12月20日に埼玉県立循環器・呼吸器病センターで実施された地域公開研修「循環器疾患患者の緩和ケア」の一部内容が重複します

[https://apply.e-tumo.jp/pref-saitama-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=66266](https://apply.e-tumo.jp/pref-saitama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=66266)

➢ 申込フォーム(上記URL又は右のQRコード)からお申込みください。

➢ 2月22日(木)を目途に、申込フォームに入力いただいたメールアドレス宛にzoom参加のためのURLをお送りいたします。



埼玉県マスコット「おひねまっちゃん」コピートン

問合せ 埼玉県保健医療部疾病対策課  
総務・疾病対策担当 藤塚・松山  
電話 048-830-3598  
E-mail a3590-05@pref.saitama.lg.jp

# 地域医療関係者との連携（埼玉県移行期医療支援センター）

第4回埼玉県移行期医療支援セミナー



## 何を準備するの？どう進めるの？ 大人の病院へ移行するまでに患者さんと家族が 準備すること、知っておくべきこと **成人期移行**

日時：令和5年**11月4日**（土）  
10:00～12:00（受付9:30～）  
場所：埼玉県立小児医療センター6階 講堂（会場参加のみ）

### 内容

定員**100名**（ひと家族3名様までの参加）  
（中学生以下は家族同伴） 参加費 **無料**

#### 挨拶・講評

埼玉県移行期医療支援センターセンター長  
埼玉県立小児医療センター副院長 浜野 晋一郎

#### 講義1

**小児科から成人医療機関移行の現状と課題**  
-てんかん診療の経験から-  
埼玉県立小児医療センター神経科医長 松浦 隆樹

#### 講義2

**-大人になるあなたと保護者の方へ-**  
**自分に合った準備と必要なこと、移行期支援の紹介**  
埼玉県立小児医療センター小児看護専門看護師 安田 有希

令和元年度に開設した「埼玉県移行期医療支援センター」では、子どもの病院から大人の病院へスムーズな移行ができるよう相談窓口の開設やセミナー開催、リーフレットの作成などをおこなっています。  
4回目となる今年のセミナーは「何を準備するの？どう進めるの？成人期移行」をテーマに、大人の病院へ移行するまでに患者さんと家族が準備すること、知っておくべきことを埼玉県立小児医療センターの医師、看護師がお話しします。患者さんが「自分自身の病気をどれくらい説明できるか」、「薬や体調の管理がどれくらいできているか」等の**セルフチェック**もおこないます。

**患者さん（ご本人）も積極的にご参加ください！**

#### 申込み方法

- 埼玉県立小児医療センターのホームページからお申込み
- 右のQRコードからお申込み



#### 申込み期間

8月10日（木）から（定員になり次第締め切り）

#### 参加対象者

- 埼玉県在住の概ね15歳以上の小児慢性特定疾病医療受給者とその家族
- 埼玉県在住の成人期移行をお考えの方
- 埼玉県内の医療機関の関係者

主催  
事務局

埼玉県移行期医療支援センター  
埼玉県立小児医療センター

お問い合わせ

地域連携・相談支援センター（担当：紫藤・佐々木）  
TEL 048-601-1509（直通） 〒330-8777 さいたま市中央区新都心1-2

## 令和5年度情報交換

日時：2023年8月29日（金） 10時30分より

心臓病の場合、小児期に循環器の手術を受けた子供が成人となり、出産や再発した場合、如何にうまく成人医療機関に繋ぐか。

## 国際医療センターの組織変更

成人先天性心疾患センター

→ 成人・**移行期**先天性心疾患センター

「総合相談支援センター開設のご案内」ちらし  
を埼玉県移行期医療支援センターへ設置

# 地域医療関係者との連携（埼玉県薬剤師会、飯能地区薬剤師会）

## 第42回 日高・飯能地区 病診連携薬剤師会勉強会

日時：2023年3月7日（火）19:00～20:40

※当会は研修認定薬剤師制度受講シール1点が付与されます。詳細は裏面をご確認下さい。

開会のご挨拶：19:00～19:10

埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 部長 牧野 好倫 先生

一般演題：19:10～19:40

座長 アポクリート株式会社 薬局事業本部 関東第二事業部  
次長 立澤 明 先生

講演1 ふれあい薬局飯能店 代表取締役 池田 里江子 先生

### 地域における市民の脳卒中イベント発症の前と後

講演2 埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 清水 敦子 先生  
脳卒中患者さんと当院薬剤師の関わり

特別演題：19:40～20:30

座長 埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部係長  
桑田 康宏 先生

講演 埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科 講師  
鈴木 海馬 先生

### 脳血管外科医が考える脳卒中後遺症へのケア ～脳卒中相談窓口の取組も含めて～

閉会のご挨拶：20:30～20:40

飯能地区薬剤師会 会長 福島 毅 先生

Web配信（ZOOM）にて開催させて頂きます。ご視聴をご希望の先生はお手数をお掛け致しますが、担当のMR、もしくは下記の代表連絡先、もしくは二次元コードからご連絡ください。  
ご連絡頂いた先生にご専用URLを後日送付致します。  
■ 視聴問い合わせメール：uekubo\_ryota\_fa@daichisanryo.co.jp  
■ 担当：第一三井株式会社 上久保 真由美 先生  
ご施設とお名前と専用URL送付用の連絡先を明記の上、ご連絡いただけますようお願い申し上げます。  
受付締切日：2023年3月3日（金）



二次元コード

\* 確認させていただきました。ご芳名は、医薬品の適正使用情報および医学・薬学に関する情報提供のために利用させていただきます。何卒、ご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。

社団法人埼玉県薬剤師会飯能支部・第一三井株式会社

## 実績

### 地域調剤薬局との連携

・ 第42回日高・飯能地区病診連携薬剤師会勉強会にて相談窓口（脳卒中）を説明

・ 埼玉県薬剤師会雑誌へ「総合相談支援センター開設のご案内」ちらし2,800部を同封

・ 飯能地区薬剤師会会員施設へ「総合相談支援センター開設のご案内」ちらしを施設内に掲示依頼

・ 飯能地区薬剤師会会員へのアンケート調査

# 地域医療関係者との連携（第1回MSW連携会議 2023.10.19）



- 急性期病院（PSC/PSCコア）に所属、それぞれのエリアでネットワークを所有
- **第2回MSW連携会議を「心臓病」に拡大し、開催（2024.3.19）**
- 各ネットワークに存在する好事例等を共有
- 集まった情報をモデル事業選定病院（国際医療センター）のHPへ掲載予定

# 心臓病等の包括的な患者支援体制強化に向けた意見交換会

目的	脳卒中と心臓病等の包括的な患者支援体制強化に向け、今年度実施している脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業の取組を、来年度以降埼玉県内で展開していくための方策を検討する
参加者	1)埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進協議会心疾患部会委員のうち、PSCコア認定病院及び県立病院に勤務する循環器内科医 3人(1人欠席) 2)厚労省「脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業」実施機関 心疾患分野責任者 2人
日時	令和5年7月26日(水) 19:00~20:50
方法	ハイブリッド(埼玉会館、ZOOM)
内容 と 結果	(1)脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業に関する説明 (2)啓発資材・患者教育資材の共有 総合支援センターのHPからダウンロードできるようにする (3)地域の中心となる施設間の連携 一次脳卒中センターコア認定病院を参考にする (4)日本循環器協会埼玉県支部によるデータ収集の紹介

- モデル事業は、予防、急性期、慢性期、在宅まで網羅した患者支援を目指す
  - 在宅医療連携拠点の活動は、「在宅医療・療養・介護に関する相談支援」「市民向けACP普及啓発」「医療・介護関係者への研修(在宅緩和ケア含む)」「各種連携会議の開催」など、多岐に渡る
  - 拠点では、急性期への介入はほぼない。疾患別の連携は考えにくい(担当患者がたまたま循環器病であるケース)
  - 拠点の役割は、「個々の患者さんの担当」より、むしろ「機関同士をつなぐ役割」がメイン
  - コーディネーターからアンケート情報の収集
- 在宅医療連携拠点とのネットワーク構築を依頼
- リハビリ、緩和ケアに関する地域連携勉強会
  - 過去に開催した市民公開講座のアーカイブ配信の活用
  - 今後企画する各種会議や勉強会の情報宣伝
  - 日常業務で発生する疑問を当院HPからWEB受付し、専門家が回答

## その他の働きかけ、連携

### ● 埼玉県内の小中高校の**児童・学生・教員**への働きかけ

- ✓ 埼玉県が新規採用する養護教諭向け研修
- ✓ 医師を目指す高校生の志を養成する研修
- ✓ 小学校PTA養護委員会家庭教育学級向け研修

### ● 埼玉県内**全消防署 救急隊**への働きかけ

- ✓ 日本臨床救急医学会認定 脳卒中病院前救護 PSLS(Prehospital Life Support) (脳卒中)
- ✓ **埼玉県大動脈緊急症ネットワークの運用に係る研修会 (心臓)**
- ✓ 日本救急医学会公認 外傷病院前救護ガイドラインJPTECコース (Japan Prehospital Trauma Evaluation Care)
- ✓ 日本災害学会認定 多数傷病者対応MCLS(Mass Casualty Life Support)

### ● **埼玉県医師会・郡市医師会**との連携

- ✓ **近隣7地区医師会の在宅医療連携拠点との治療と仕事の両立支援・就労支援、緩和ケア研修**

# 国際医療センター 院内施策

## ● 心不全手帳の活用

- ✓ 新規外来患者、新規入院患者へ配付・・・毎日の自己管理を指導

## ● VAD装着患者向け治療生活支援アプリの導入

- ✓ 入院前から退院後まで充実した患者用教育コンテンツ
- ✓ 患者自身の体調管理をアプリが支援、医療機関でも閲覧することで診療が効率化
- ✓ 患者の体調確認、抗凝固薬などの薬剤調整、VADの機器確認、ドライブライン刺入部の確認

## ● 退院時の患者指導を包括的に電子カルテにセット化

- ✓ 薬剤、リハビリ、栄養に関する対応の確認（栄養は途上）

## ● 療養・就労両立支援指導料

- ✓ 埼玉産業保健総合支援センターとの協定締結を機に見直し

## ● 各種患者指導の動画作成

## ● 電子カルテ連動患者支援アプリの活用

- ✓ 予約確認、検査前の注意事項確認、動画閲覧等が可能（途上）

# 脳卒中・心臓病等総合支援センターの事業展開

脳卒中相談窓口機関の連携 (PSC, PSC core)

心臓病相談窓口機関の連携

多職種地域連携

埼玉県における脳卒中相談窓口・心臓病相談窓口のとりまとめ役

脳卒中・心臓病等総合支援センター (当院)

窓口事業の方向性を示す

埼玉県循環器病対策推進協議会

埼玉県の循環器病対策推進計画に反映

循環器病患者・家族への支援の均霑化

## 協力・連携機関

- 国(厚労省・循環器病支援総合委員会)
- 埼玉県(疾病対策課)
- 埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進協議会  
✓ 同・脳卒中部会 / 心疾患部会
- 埼玉県医師会
- 埼玉県郡市医師会(7地区医師会)
- 地域医療支援病院運営委員会(地域の医療連携)
- 日本脳卒中学会 / 同・埼玉県脳卒中对策推進委員会
- 日本循環器学会、日本心不全学会、日本心臓血管外科学会
- 埼玉県看護協会、理学療法士会、栄養士会、介護支援専門員協会他

## まとめ

- 2023年度、埼玉県(国際医療C)が循環器病支援モデル事業に採択
- 目標は県内全域で均一で良質な脳卒中/心臓病患者・家族への支援提供
- 包括的患者支援センター内の一部門として稼働(患者支援戦略の統合化)
- 医療機関、介護・福祉施設との連携を強化し、地域モデルを確立  
→ 埼玉県各地域へ横展開
- 多職種が有機的に連携し、三大疾病の重複に対応可能な「埼玉モデル」の構築が目標

## 課題

- 脳卒中・心臓病等総合支援センター(国際医療C)の県民、医療 / 介護従事者への周知
- 県民(啓蒙活動)、医療・介護従事者への継続的な教育

# 令和6年度 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業計画 (埼玉県)

# 埼玉県 地域保健医療計画(第8次)の施策体系

令和6年1月26日医療審議会資料抜粋

## 第1部 基本的な事項

### 第1章 基本的な考え方

- 第1節 計画策定の趣旨
- 第2節 基本理念
- 第3節 計画の位置づけ
- 第4節 計画の期間

### 第2章 計画の背景

- 第1節 地勢と交通
- 第2節 人口構造
- 第3節 人口動態
- 第4節 住民の受療状況
- 第5節 医療提供施設等の状況
- 第6節 医療費の概況

### 第3章 医療圏

- 第1節 医療圏の設定
- 第2節 事業ごとの医療圏

### 第4章 基準病床数

- 第1節 基準病床数

### 第5章 計画の推進体制と評価

- 第1節 計画の推進体制と役割
- 第2節 評価及び見直し
- 第3節 進捗状況及び評価結果の周知方法

## 第2部 暮らしと健康

### 第1章 ライフステージに応じた健康づくりとQOLの向上

- 第1節 健康づくり対策  
【健康長寿計画】
- 第2節 食育の推進  
【食育推進計画】
- 第3節 歯科保健対策  
【歯科口腔保健推進計画】
- 第4節 親と子の保健対策
- 第5節 青少年の健康対策
- 第6節 人生の最終段階における医療
- 第7節 動物とのふれあいを通じたQOLの向上

### 第2章 疾病・障害への取組

- 第1節 難病対策
- 第2節 臓器移植対策
- 第3節 リハビリテーション医療
- 第4節 アレルギー疾患対策  
【アレルギー疾患対策推進指針】
- 第5節 肝炎対策  
【肝炎対策推進指針】

### 第3章 健康危機管理体制の整備と生活衛生

- 第1節 健康危機管理体制の整備充実
- 第2節 保健衛生施設の機能充実
- 第3節 安全で良質な水の供給
- 第4節 衛生的な生活環境の確保
- 第5節 安全な食品の提供

## 第3部 医療の推進

### 第1章 疾病ごとの医療提供体制の整備

- 第1節 がん医療  
【がん対策推進計画】
- 第2節 脳卒中医療及び心筋梗塞等の心血管疾患医療  
【脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進計画】

- 第3節 糖尿病医療
- 第4節 精神疾患医療  
【自殺対策計画】  
【依存症対策推進計画】

### 第2章 事業ごとの医療提供体制の整備

- 第1節 救急医療
- 第2節 災害時医療
- 第3節 周産期医療
- 第4節 小児医療
- 第5節 感染症医療  
【感染症予防計画】

### 第3章 在宅医療の推進

- 第1節 在宅医療の推進

### 第4章 医療の安全の確保

- 第1節 医療の安全の確保
- 第2節 医薬品等の安全対策  
【薬物乱用対策推進計画】
- 第3節 医薬品の適正使用の推進
- 第4節 献血の推進

## 第4部 地域医療構想

- 第1章 地域医療構想の概要
- 第2章 本県の概況と2025年における医療需要等
- 第3章 医療提供体制整備の方向性と地域医療構想の推進体制
- 第4章 各地域の概要及び医療提供体制整備の方向性

## 第5部 医療従事者の確保等

- 第1章 医師の確保に関する事項  
【医師確保計画】
- 第2章 医療従事者等の確保に関する事項  
【薬剤師確保計画】
- 第3章 外来医療に係る医療提供体制の確保に関する事項
  - 第1節 外来医療に係る医療提供体制の確保の方針
  - 第2節 区域の設定と推進体制
  - 第3節 外来医療の提供状況
  - 第4節 外来医療に係る医療提供体制の確保に向けた取組

## 第6部 医療費適正化計画

- 第1章 住民の健康の保持の推進
- 第2章 医療の効率的な提供の推進
- 第3章 医療費の見込み
- 第4章 国民健康保険の運営

## 第2期埼玉県循環器病対策推進計画

▶ **循環器医療** → 脳卒中及び心筋梗塞等の発症予防・重症化予防に向けた生活習慣の改善や早期受診の重要性の普及啓発、急性期、回復期から社会復帰に向けた切れ目のない医療提供、リハビリテーションを通じ、患者支援体制の充実に取り組む。

## 第2期計画における埼玉県の全体目標

- 1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発
- 2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実を図る
- 3 健康寿命（65歳に達した人が要介護2以上になるまでの期間）の延伸

健康寿命	令和3年（2021年）		令和11年（2029年）	
男性	18.01		18.83	
女性	20.86		21.58	

循環器病の年齢調整死亡率の低下

	令和3年（2021年）		令和11年（2029年）	
脳血管疾患	男性	93.4	61.3	
	女性	58.0	37.9	
虚血性心疾患	男性	101.9	71.7	
	女性	45.6	28.2	

## 埼玉県の現状と課題

- 1 地域特性があり、県内一律の体制が取りにくい。
- 2 急性期から回復期、生活期まで切れ目なく移行できる連携体制が課題
- 3 急性期から回復期、生活期までの継続した患者教育による再発・重症化予防体制が課題
- 4 回復期からの生活期に向けた日常生活機能の回復・維持、社会復帰に向けたリハビリテーションの実施及び提供体制が課題（後遺症を有する患者への支援）。
- 5 合併症をもつ患者への支援

脳卒中の再発率  
発症後10年以内で  
**51.3%**

## 対策 I 心疾患

- 1 生活習慣、社会環境の改善を含めた幼少期からの循環器病に関連する普及啓発
- 2 県民に対する、循環器病の危険因子や兆候、原因疾患に対する普及啓発
- 3 医療機能の充実を図るための研修会等の開催
- 4 早期発見リハビリテーションの取組  
心疾患では、心不全等で入退院を繰り返す患者が増加  
再発予防・再入院予防の観点が重要

## 対策 II 脳卒中

- 1 回復期からの生活期に向けた日常生活機能の回復・維持、社会復帰に向けたリハビリテーションの実施及び提供体制が課題。
- 2 急性期入院中からの患者指導に必要な教育媒体の作成→再発・悪化予防
- 3 急性期からのシームレスな再発・重症化予防

## 対策 III その他

- 1 患者の課題・・・医学的な問題だけでなく、自己管理や社会的環境要因等の調整  
自己管理できない人のために役立つツールの開発
- 2 後遺症を有する患者への支援
- 3 地域及びライフステージに応じた課題解決への支援
- 4 多職種による疾患管理プログラムの必要性

## 評価指標

在宅等生活の場に復帰した患者の割合

	令和2年度（2020年）	令和11年度（2029年）
脳血管疾患	59.20%	62.16%
虚血性心疾患	91.50%	93.0%

# 令和6年度 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業計画(埼玉県)

## 1. 令和5年度事業の継続

- ① 患者支援：脳卒中・心臓病相談窓口の継続
  - ・地域の医療従事者・介護従事者等からのご相談にも対応
- ② 地域住民を対象とした情報提供・普及啓発
  - ・市民公開講座、県民公開講座等の開催
- ③ 多職種連携の基盤づくり
  - ・PSC施設・心臓病施設・MSW・医療従事者・在宅医療連携拠点等との連携
  - ・地域医療従事者・介護従事者向け懇話会、看護師向けカンファレンス

# 令和6年度 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業計画(埼玉県)

## 2. 令和6年度の強化事業

『シームレスな地域医療・福祉サービスの提供：各職種間での情報共有・連携体制の構築』

- ① 脳卒中・心臓病等循環器多職種ネットワークの構築
  - a. 「地域」と「病院の医師・看護師・薬剤師・リハビリ・介護職等」のネットワークの構築
  - b. 回復期リハ病院、将来的には慢性期病院へネットワークを拡大
- ② SCPA-Japan（日本脳卒中医療ケア連合）埼玉支部の立ち上げ
- ③ 両立支援調査2024への参加

# 令和6年度 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業計画(埼玉県)

## 2. 令和6年度の強化事業

- ① 脳卒中・心臓病等循環器多職種ネットワークの構築
  - a. 「地域」と「病院の医師・看護師・薬剤師・リハビリ・介護職等」のネットワークの構築  
⇒埼玉県と共同実施、意見交換会（勉強会）を開催予定
  - b. 回復期リハ病院、将来的には慢性期病院へネットワークを拡大  
⇒「両立支援調査2024への参加依頼」を埼玉県下67のリハビリ病院へ案内（調査は、MSWまたは看護師の皆様にご協力頂く予定）  
⇒PSCと回復期リハ病院に在籍するMSW・看護師を中心とした「脳卒中相談窓口連携会議」を立ち上げ予定

# 令和6年度 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業計画(埼玉県)

## 2. 令和6年度の強化事業

### ② SCPA-Japan (日本脳卒中医療ケア連合) 埼玉支部の立ち上げ

⇒脳卒中に対する情報提供・相談支援をより有効に進めるために、関係各団体が組織的に連携することを目的として「一般社団法人日本脳卒中医療ケア従事者連合」が2021年12月に設立されました。

社員となった各団体はこれまでもそれぞれの領域で本邦における脳卒中の医療やケアについて力を尽くしてきましたが、**日本脳卒中医療ケア従事者連合はそれらの活動に横串を通す領域横断的な連携活動をおこなっています。**

また、地域における多職種連携をより有効に進めるために、日本脳卒中医療ケア従事者連合の府県支部が、2024年4月1日の時点で19府県において活動しています。これからも一般社団法人 日本脳卒中医療ケア従事者連合は脳卒中になられた患者さんとそのご家族等に対する情報提供・相談支援を大きく前進させるための大きなエンジンとして活動して参ります。

URL : <https://www.scpaj.jp>

# 令和6年度 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業計画(埼玉県)

## 2. 令和6年度の強化事業

### ② SCPA-Japan (日本脳卒中医療ケア連合) 埼玉支部の立ち上げ

社員団体一覧

- ① 一般社団法人 日本脳卒中学会
- ② 公益社団法人 日本脳卒中協会
- ③ 日本脳神経看護研究学会
- ④ 日本ニューロサイエンス看護学会
- ⑤ 公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会
- ⑥ (一般社団法人 日本介護支援専門員協会)
- ⑦ 一般社団法人 日本作業療法士協会
- ⑧ 公益社団法人 日本理学療法士協会
- ⑨ (一般社団法人 日本神経理学療法学会)
- ⑩ 一般社団法人 日本言語聴覚士協会
- ⑪ 公益社団法人 日本薬剤師会
- ⑫ 一般社団法人 日本病院薬剤師会
- ⑬ 公益社団法人 日本栄養士会

# 令和6年度 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業計画(埼玉県)

## 2. 令和6年度の強化事業

### ③ 両立支援調査2024への参加

「回復期以降の循環器病に対する多職種連携による患者支援体制の充実・普及に資する研究(23FA1801)」(宮本班)

脳卒中SWGによる調査研究3(両立支援調査2024)

対象県 : 埼玉県他 計10県(令和5年度モデル事業採択県)

調査概要 : PSC・回復期リハ病院から自宅退院した脳卒中患者に対する  
両立支援内容を調査する

a.両立支援を行った患者・・・療養・就労両立支援指導料の算定

b.両立支援を行わなかった患者・・・行わなかった理由

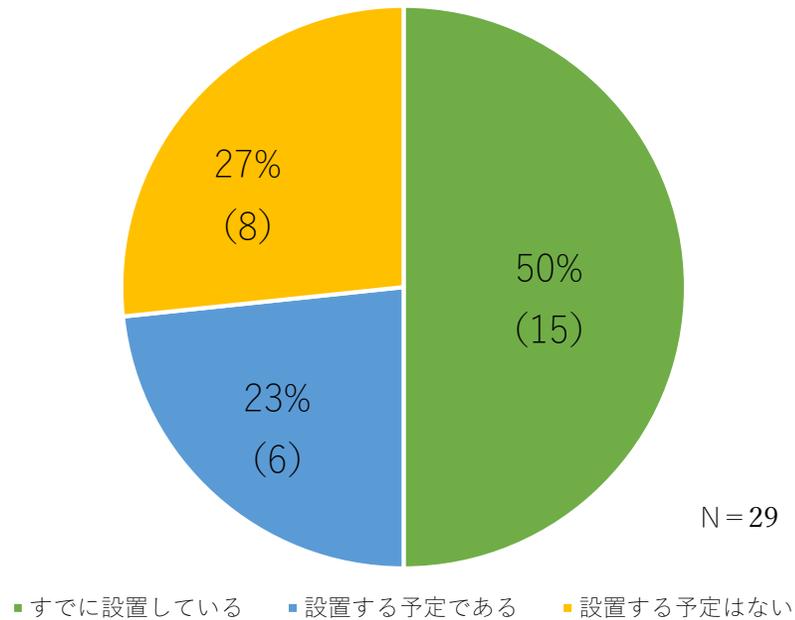
期待される効果 : 悉皆性のあるデータに基づき「療養・就労両立支料」  
の現実(課題)と対象となり得る脳卒中患者の割合」を把握し、提言する

# アンケート調査の還元

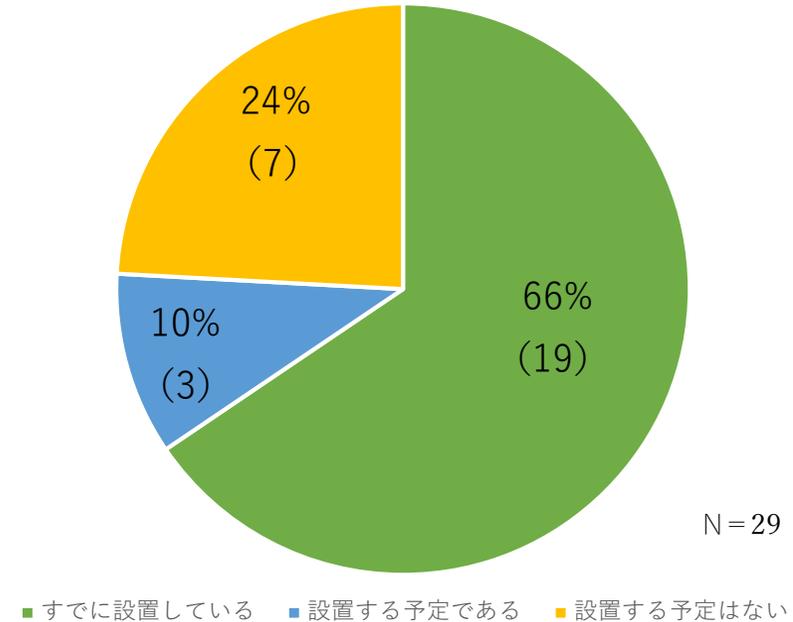
# アンケート調査の還元

脳卒中相談窓口の設置は、2023年15施設であったが、2024年は19施設へ拡大

脳卒中相談窓口設置（予定を含む）の有無  
(2023年)



脳卒中相談窓口設置（予定を含む）の有無  
(2024年)



# その他、意見交換

**ご参加頂きまして、ありがとうございました。**

**今後ともよろしくお願ひ申し上げます。**